

# 新藤信夫市政ニュース

平成20年3月  
Vol.11  
発行:自民党さいたま市議会議員大宮区西支部  
TEL 647-7713  
FAX 647-7726



## 2月議会終わる

### 平成20年度予算可決

2月12日から始まった2月定例会は、20年度予算案を含む78件及び議案等の審議を終え3月13日に31日間の会期を終了しました。

平成13年に大宮、与野、浦和の3市が合併してさいたま市が誕生して以来、平成15年には政令指定都市への移行が10万人を超えて政令指定都市の中でも中堅に位置付けられる大都市へと発展してきました。政令指定都市として必要な保健所等の必地施設もほぼ完成し、基盤はほぼ固まってきたものと思われまます。今後、さらなる飛躍的発展をめざし、現状に甘んずることなく、さいたま市の持つ資源や特色を最大限に生かしたまちづくりに取り組んで行く重要な時期にきています。このような状況を踏まえて平成20年度予算は審議され議決最終日の本会において総額で682億5千万円、前年度比約10%減(5.1%減)で可決しました。

### さいたま市の財政状況と予算概要

景気の先行きに不透明な状況が懸念される中で、歳入の根幹をなす市税収入は、市民税や固定資産税が堅調に伸びていることから、歳入の確保はできる見込みとなります。



保健福祉委員長報告

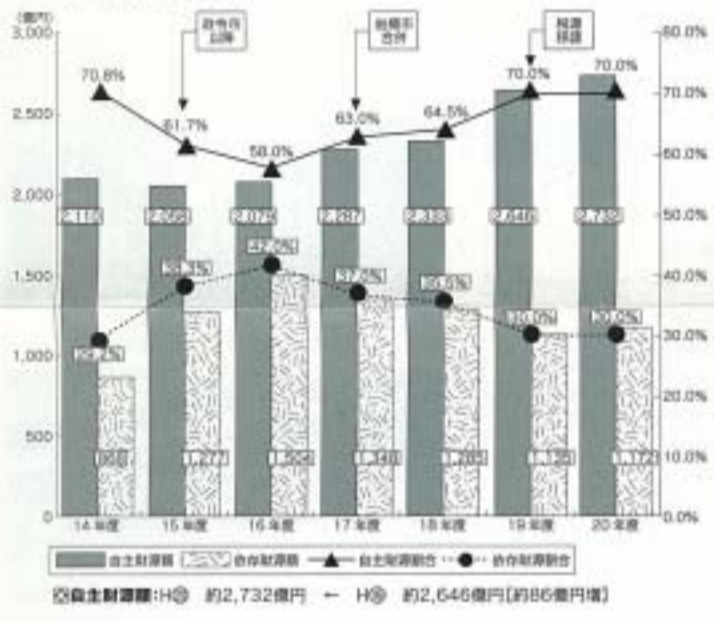
## 新藤信夫

歳出につきましては、新たに始まる後期高齢者医療制度などの少子高齢化に伴う医療や社会保障費、さらにはインフラ整備等に係る社会資本整備費等の財政需要が見込まれる状況にあり厳しさを増しています。特に今年度予算編成においては、国において道路特定財源の暫定税率の廃止あるいは延長を巡る議論が山場を迎えている中で、暫定税率が廃止された場合、さいたま市では100億円を上回る減収が見込まれ道路関係事業に多大な影響が出る事が予想されます。

平成20年度の予算編成は「子育て支援」「安心安全」「オリエントシティ」の3つのキーワードのもと「攻め」のまちづくりを推進することとしています。その結果、一般会計予算は、国が、「地方財政対策」で示した前年度比0%に対して3.3%増の390億4千万円の積極型予算となっています。

また、特別会計では、平成19年度をもって2会計が廃止となることや、浦和駅東口の再開発ビル「コムナール」が完成することによる大幅な支出減などにより、前年度比25%減の179億3千万円となりました。企業会計では、水道事業で公的資金の借換や岩槻区の水道老朽整備等に多額の支出が見込まれることから前年度比10.8%増の113億1千万円となり、予算総額は、前年度比5.1%減の682億5千万円となりました。

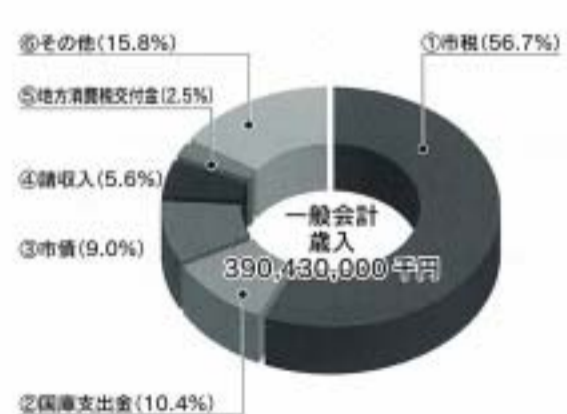
### 〈自主財源の推移〉



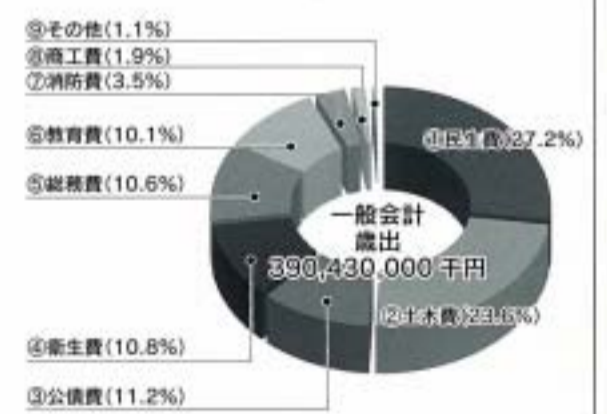
## 平成20年度予算



種別	金額	割合 (%)
① 一般会計	390,430,000	57.2
② 特別会計 (保険・社庫等・土地区画整理事業)	179,031,000	26.2
③ 企業会計 (水道・下水道・病院事業)	113,111,920	16.6
合計	682,572,920	100.0



種別	金額	割合 (%)
① 市税	221,244,962	56.7
② 国庫支出金	40,609,782	10.4
③ 市債	34,999,477	9.0
④ 雑収入	21,917,320	5.6
⑤ 地方消費税交付金	9,755,000	2.5
⑥ その他	61,903,459	15.8
合計	390,430,000	100.0



種別	金額	割合 (%)
① 民生費	106,027,109	27.2
② 土木費	92,165,625	23.6
③ 公債費	43,884,155	11.2
④ 衛生費	42,364,332	10.8
⑤ 総務費	41,560,192	10.6
⑥ 教育費	39,461,596	10.1
⑦ 消防費	13,524,256	3.5
⑧ 職工費	7,283,741	1.9
⑨ その他	4,158,994	1.1
合計	390,430,000	100.0

## 平成20年度の主な事業

- ハローエンゼル訪問事業（約2,000万円）  
生後4ヶ月までの乳幼児がいる全家庭を民生委員や児童委員が訪問し子育て相談や情報提供を行う。
- 乳幼児・児童医療費の助成拡充等（約26億円）  
所得制限を廃止し、小学校入学前までの児童の医療費を無料化。入院医療費の無料化を中学生まで拡大する。また、公費による妊婦健康診査回数を2回から5回に増やす。
- 普通教室へのエアコン設置（約5億5,900万円）  
平成19年度に引続き、市立高校3校にも対象を拡大し普通教室へのエアコン設置を進める。市立小中学校への普通教室へのエアコン設置は今年で完了する。
- 盆栽関連施設の設置（約6億3,000万円）  
平成21年度に北区に開設予定の盆栽関連施設の設計と、既存建物の解体工事費。岩槻区に開設予定の岩槻人形会館については、今年度は基本設計を行う予定で、開設は2年遅れの平成22年度になる見込み。
- 大宮駅周辺開発の構想策定に着手（1,900万円）  
大宮駅の西口、東口を含めた大きな構想を平成20年度に中間報告、21年度に構想を策定する予定。現在、現状分析や基本的な考えをまとめ、20年度には大宮都市再生委員会を立ち上げる。
- 国際会議の開催（5,100万円）  
8月に（仮称）国連軍縮さいたま会議が開催される。20ヶ国から約70名が参加する予定で合併前も含めてさいたま市での開催ははじめて、また、11月には、（仮称）国際会議さいたまシンポジウムが予定されており環境をテーマに議論が交わされる。
- 国・県道等の主要幹線道路の整備（約150億円）
- 公共下水道・雨水幹線等の整備（約147億円）

## 市民の声

### 市の独自文化への取り組みに期待する

さいたま市は、災害も少なく、気候的にも住みやすい。特に首都圏内にあり、大都市・東京へのアクセスがよいことは誰しも認めるところである。江戸期に天領が長く続いたことから、素直な人柄なども加わり、住み続けたいと希望する市民が多い。

それだけに東京のお隣で、独自の文化が見られないともいわれる。旧大宮市のころから、鉄道・漫画・盆栽は、市の文化として力を入れてきたものの、その拠点づくりである施設は、漫画会館を除いて、出来ず仕舞いで終わった感がある。しかし、合併・政令指定都市に移行して、大きく前進をし、実を結んできている。

例えば昨年10月には、大宮区内に悲願の鉄道博物館がオープンし、長年の取り組みがやっと叶ったわけだ。世界有数の規模を誇るこの博物館を見学していると、大宮にいることを忘れる。将来的にも市民の誇りとなるであろう。

さらに、5億円で取得した盆栽などをメインに展示する、盆栽関連施設が今年、着工されるという。いづれ世界に誇れる新名所が堂々オープンする。この施設を中心に地場産業の盆栽は、日本の伝統文化のひとつとして大きく飛躍することを期待したい。しかし都市基盤の整備の遅れが見られるが、「文化が街をつくる」との気概を持ち、市の独自性・誇りとなるソフト部分の整備も力を入れて、市民生活の向上を図ってもらいたい。私たちは、各施設からの発信を生活の中に取り入れ、潤いのある心豊かな生活に結び付けて生きたいものだ。

（盆栽好きの鉄ちゃん）



「獅子」(マイコ) 五葉松  
樹齢350年、樹高68cm、全長147cm  
県産盆栽として日本一、  
第72回全国盆栽大会受賞。

### 平成20年度大宮区内で行われる主な事業

事業名	場所	事業費	事業概要
一の宮通り(通称オレンジロード)整備と沿線商店街の深耕・活性化	宮町1丁目 高鼻町1丁目 大門町2-3丁目	商店街活性化推進事業費 8,743千円	商店街の活性化を図り、地域特色を創出する取組に対して支援する
産業道路(バイパス化)の整備促進	天沼町2丁目	産業道路街路事業費 362,515千円	天沼高鼻線から市道20195号線までの670m区間 平成20年度は引き続き用地買収を行う
大宮駅西口バスターミナルのエスカレーター、エレベーターの設置	大宮駅西口	備りよう維持事業費 546,000千円	より使いやすい広場の実現に向けて、エレベーター等の設置を検討する
大宮駅東口駅前広場及び銀座通りの遠やかな整備	大宮駅東口駅前広場、銀座通り	交通安全施設整備事業経費 2,306,826千円	大宮駅東口駅前広場については、平成19年度より改修工事を継続し、銀座通りについては、電線類地中化に向けて調整を図る
中山道の電線地中化と歩道整備の推進	大宮区仲町、ほかの中山道		事業中路線であり、未買収地の取得、及び工事の推進に努めます
氷川線西通線(区役所前通り)の早急な事業決定	大門町3丁目～吉敷町1丁目	大宮駅東口都市再生プラン推進事業費 15,070千円	氷川線西通線は、大宮駅東口都市再生プランのリーディング事業に位置づけしており、早期の事業決定に向け推進する
氷川参道の歩車道分離の完全完成に向け事業の推進	大宮区東町1丁目北区間	大宮駅東口都市再生プラン推進事業費 43,135千円	歩車分離整備の未実施区間(約250m)において、地元まちづくり団体との協働により、前線の歩車分離整備を推進する
三橋中央線の整備、荒川左岸道路から大宮バイパスまでの事業実施	国道17号から新大宮バイパスまでの事業実施	三橋中央線街路事業費 1,091,093千円	東側778mを平成19年度未完了を目指し、さらに新大宮バイパスまでの西側区間840mを平成20年度に事業着手し、用地買収を行う
JR大宮駅東口にエレベーター、エスカレーターの増設	大宮駅東口	交通バリアフリー推進事業費 73,188千円	平成20年度をめぐりに大宮駅東口の南側階段部分にエレベーターを設置する
大宮駅西口都市改修事業(第四地区土地区画整理事業)	大宮駅西口(桜木町1丁目錦町地内)	移事業費 19,070,000千円 平成19年度 19,070,000千円	施工地区面積 9.68ha 平成17年度から本格的建物移転を開始 主要道路及び街区整備を推進する
桜木小学校校舎改修事業	大宮区桜木町4丁目328番9	仮設校舎設置費 平成19年度から21年度 252,000千円	三橋中央線整備事業に伴う北校舎の改築 19年度 仮設校舎建設 20年度 解体工事 21年度 建設工事 22年度 供用開始
鴻沼川治水対策事業	大宮区桜木町4丁目水川橋～桜木調節池	埼玉県事業 平成18年度から継続事業	富士見工区 560m
桜木調節池公園事業	大宮区桜木町4丁目桜木調節池	平成19-20年度 170,000千円	調節池上に公園を整備する 面積 約7,000㎡



一の宮通り



大宮駅西口バスターミナル



大宮駅東口駅前広場



区役所前通り



中山道の電線地中化



三橋中央通線